

浸水被害の実態把握について

8月大雨での床下・床上浸水についての市による件数は「住民からの届け出があったものののみ」を集計しているため、実数とはかなりのズレが生じています。特に届け出が少ない床下浸水の場合が顕著のようです。それは、市からの説明と私の住民からの聞き取りでわかりました。これは、安全安心な玉名市を実現する上で、見過ごすことができないことです。私は、9月1日に市へ調査を積極的に行うべきだと提言しました。

境川流域の県管理区域では水害を受けて、10月初めには土嚢が積んでありました。しかし同時に、土嚢が設置されていない浸水地域があることを知りました。住民によると、そこは過去に何度も被害にあってるそうです。そこで、市を通じて県に連絡したところ、当日中に県・住民・私の3者での現地確認と土嚢設置の詳細が決定しました。なぜ、この場所に土嚢が積まれなかつたのか。それは、該当場所の浸水状況について県と市の情報共有がうまくいってなかつたためと思われます。



境川に設置された土嚢

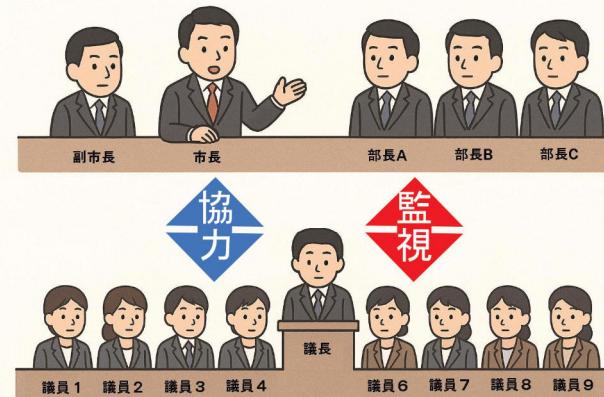
10月現在、市での浸水調査はまだ実施されていません。この後の防災のため、浸水被害を市へ未届けの方は、山下まで情報提供をお願いします。

連絡先 山下 桂造 090-2585-1764
 hgi54321@hazennamiki.sakura.ne.jp

玉名市の選挙と政治の仕組み（解説）

玉名市では、10月19日に市長選と市議会議員選の投開票がそれぞれ行われ、市長の再任（無投票）と22人の議員が選ばれました（投票率58.19%、新玉名市で最低）。

市長・執行部側 「行政を計画・実行」



議会側 「市長提案の予算や条例を審議・決定、市長の仕事の監視」

玉名市のような地方自治体では、首長（市町村長）と議会議員という2つの異なる代表をそれぞれ住民の直接選挙で選ぶ「二元代表制」をとっています。国の場合には、住民の直接選挙で国会議員を選び、それらの議員の投票で首相を選ぶ「議院内閣制」です。

二元代表制では、市長と議員は対等な立場にあり、お互いに協力と監視しあう関係にあります。これは住民の意見を実行役と監視役の2つのルートでしっかりと反映させるための仕組みです。市議会には与党・野党はありません。議会の役目は、市長の単なる追認機関にならないようしっかり質問・議論して、政策決定に関与していくことです。そして、議会からも政策を出していくようにしなければなりません。

大好き玉名

市政報告 + α

秋号

令和7年10月21日発行

No. 16



ヒガンバナ
花が咲いているとき、葉はありますか。（「葉見ず、花見ず」といわれています。）



玉名市議会議員

山下けいぞう

事務所 玉名市立願寺85番地3
携帯電話 090-2852-1764
電話・Fax 0968-73-5640
メール hgi54321@hazennamiki.sakura.ne.jp
HP <https://www.wakuwakutamana.com>



庭の美化 一步広げて道路まで

9月議会での山下の質問

玉名市主催イベントについて

(質問)

- ①玉名市のイベントと経済効果について
- ②イベント終了後の取組み
- ③観光消費と今後の方向性

(答弁)

①玉名市では、玉名市国際芸術祭、金栗四三スイーツマラニック、謎解きロゲイニング「ひみつのたまな」、eスポーツイベント「e-Spa TAMANA」など、年間を通じて多彩なイベントを開催している。国際芸術祭では、海外からの参加者や家族が市内に滞在し、観光や買い物を楽しんでおり、地域経済に大きく寄与している。そのほかのイベントも、会場の規模や内容に応じて目標人数を設定し、滞在時間を少しでも延ばす工夫を行っている。

②各イベント終了後には、参加者数や年代、感想、宿泊の有無、市内での行動内容をアンケート調査し、効果を検証している。さらに、府内



スイーツマラニック2025出発

での事業評価においても全体を振り返り、改善点を次回に活かしている。

③令和6年における本市の観光消費額は、日帰り4,575円、宿泊32,629円であった。日帰りは県平均とほぼ同水準であるが、宿泊は本市が約1,000円上回っている。市は今後もPDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）を回しながら事業を改善し、市外からの誘客を促進していく。そして、イベントを通じて地域のにぎわいを高め、経済の活性化につなげていくつもりである。

一般質問持ち時間、災害対策のため短縮

8月10日・11日の大雨による災害復旧に職員の多くが携わっていることから、議員一人の一般質問の持ち時間を20分に短縮された。（従来は40分）そのため、私の一般質問は1つに絞った。



8月11日朝 市役所前の様子

令和7年8月11日7時13分山下撮影。市役所北側の公用車進入路。10cm以上浸水している。他の進入路は30cm程水位があり、通行不能だった。また、この影響で府内のトイレが使用不能になった。浸水が起こると道路が通れなくなるだけではないということがわかった。

令和6年度決算について

玉名市では、毎年9月の議会で前年度の決算（金の使い道）をチェックしています。

私は昨年の議会で、特定の地域にかかっている「都市計画税」は住民にとって公平さに欠けると考えたので、それをなくすように市に求めました。その結果、この税は1年半後に廃止の予定となりました。この税廃止により、市の税収入が1億7千万円ほど減ってしまう。また、市の財源と国・県の補助を合わせると、この10倍の収入がなくなるようです。この収入減を補うためには、市が行っている全事業に無駄がないのかを厳しくチェックする必要があると私は考えています。

市の本年度の予算編成では、見積もっていた県からの補助金が今年度の出資計画にはないことが後に判明して、結局、市の財源からの出費に振り替えるということがありました。これは6年度だけでなく、今までに複数回ありました。私はこの点の確認不足を指摘しました。私は議員として、市の財政への責任を重く受け止めています。

令和7年度（令和6年度事務）

定期監査報告書の紹介

監査報告書の「前文7監査の結果」をぜひ読んでください。右記のQRコードでダウンロードできます。

